

IV 基本目標

「創造的な文化を生み出す都市・東京」を実現するための基本目標として、

- I 世界が文化的魅力を感じる都市・東京
- II 都民が文化的豊かさを誇れる都市・東京
- III 文化創造の基盤が充実する都市・東京

を掲げ、それぞれの基本目標の下に推進すべき施策を示します。

基本目標Ⅰ < 世界が文化的魅力を感じる都市・東京 >

芸術文化面での東京の評価を高めることは、日本全国や海外の人々が、東京を訪れ、また、様々な才能ある人々が住み働く活力ある都市となるための戦略でもあります。

東京が多様な文化や価値観を許容し包含する都市となることは、新しい事業や活動を起こしやすくするものと考えられます。将来的には、文化的であることやクリエイティブであることが事業や活動の付加価値となり、産業振興等に結び付くことが期待されます。

また、首都・東京において文化的魅力を高めていくことは、日本全体の魅力を高めることにも貢献します。

そのために、新進・若手アーティストの発掘・支援、世界中から様々なアーティストが東京に集まる施策の実施、東京からの舞台芸術の発信、芸術文化を支える人材の育成などの取組を展開し、世界が文化的魅力を感じる都市・東京を目指します。

施策

- ① 新進・若手アーティストの支援
- ② 芸術文化の創造と発信
- ③ 芸術文化を支える人材の育成

基本目標Ⅱ <都民が文化的豊かさを誇れる都市・東京>

東京に暮らす人々が、東京に対する愛着や誇りを持つことは、東京が真に豊かな都市となるための基盤です。そのためには、都民自身が、東京に対して文化的魅力を感じる必要があります。文化芸術の「鑑賞」はもとより、「創作」や「交流」、「支援」など様々な側面から文化を支えることにより、都民自身にとって魅力と活力あふれる都市が生まれます。

また、次代を担う子どもたちには、学校や地域コミュニティなどで、優れた芸術による表現や、創造する楽しさを体験する機会を提供し、豊かな感性をはぐくむことが重要です。

さらに、東京には世界に誇る江戸開府以来 400 年の文化の蓄積があり、その継承・発展は新たな文化の源となるとともに、都民の文化的アイデンティティの確立につながるものです。

都民が余暇としての文化を楽しむだけでなく、文化を通じてより積極的に自己実現を図り、生きがいを感じ充実感を得られるような取組を展開し、都民が文化的豊かさを誇れる都市・東京を目指します。

施策

- ④ 子どもたちの豊かな感性の育成
- ⑤ 都民の文化活動の促進
- ⑥ 文化の継承・発展

基本目標Ⅲ <文化創造の基盤が充実する都市・東京>

東京の文化的魅力や文化的豊かさが向上するためには、東京に潜在力としてある文化資源を顕在化させ、更に活性化させていかなければなりません。

歴史的建造物や景観は観光資源として、またマンガやアニメは産業として、それぞれ海外にも強いインパクトを与えるものです。これら文化資源の顕在化と活性化に当たっては、文化の持つ可能性に着目し、観光・産業振興やまちづくりなどとの連携を推進することが求められています。

都立文化施設は、それぞれ優れた専門的機能を備えており、東京の文化の創造・発信や芸術文化を支える人材の育成などの役割をこれまで以上に果たしていきます。また、多彩な事業展開や都民サービスの充実のため、指定管理者制度なども活用しながら魅力向上に努めていきます。

文化の担い手は、行政だけではなく、都民、芸術文化団体、企業、NPOへと広がりを見せています。こうした多くの主体が、その役割に応じて連携し、協働する動きが芽生えています。

このような文化資源や連携・協働の動きを活かして、様々な政策分野にわたる総合政策の展開や多様な主体との連携などに取り組み、文化創造の基盤が充実する都市・東京を目指します。

施策

- ⑦ 観光・産業振興、まちづくりなどとの連携
- ⑧ 都立文化施設の改革と魅力向上
- ⑨ 文化振興推進体制の整備